



# みなみせや

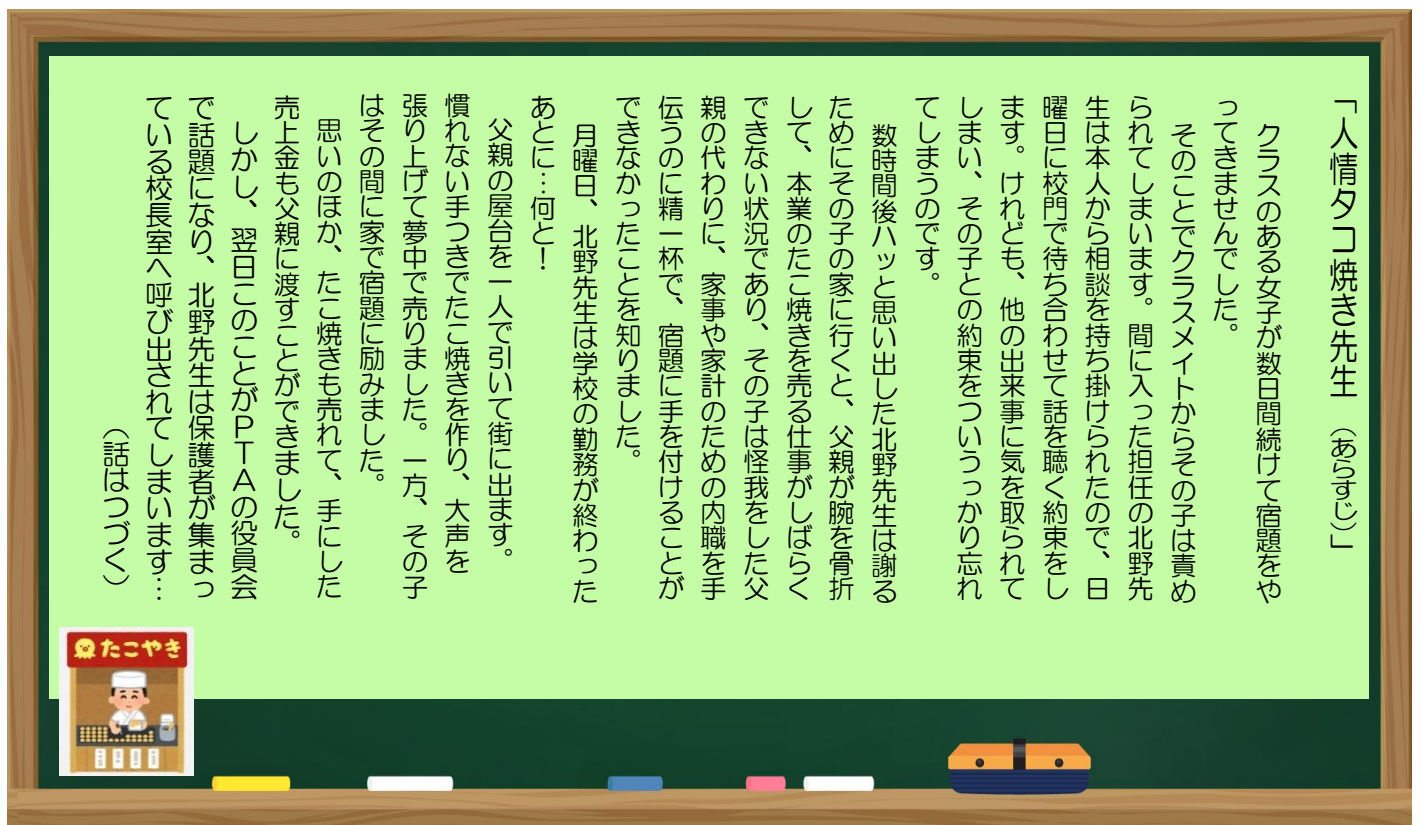
熱中時代 ～「人情タコ焼き先生」から学ぶ～

校長 小宮 健

新年度が始まり1か月が過ぎようとしています。本日の授業参観では多数のご来校いただきました。学習活動や掲示物などから、新年度になったお子様の意気込みを感じ取られたことと思います。また学校説明会～懇談会までご参会され、本校の教育活動にご理解いただけたことに感謝いたします。

さて、これまで数多く存在してきた学園ドラマの中に、今から40年以上前に放映された小学校を舞台にした「熱中時代」（1978.10～1981.3）という高視聴率番組がありました。少年時代の私は、ブラウン管の前で若き日の水谷 豊氏（現在は「相棒」というドラマが有名）扮する新任教師の北野広大教諭が赴任先の小学校で起こるさまざまな出来事に体当たりで挑む姿に釘付けになりながら、時として涙が頬を伝わってきたことを覚えています。

そのシリーズの中で特に印象に残っている話がありました。何せ半世紀も前の番組なのでうろ覚えの記憶しか残っていませんでしたが、動画配信で再び視聴する機会を得て、そのときの感動が蘇ってきました。タイトルが「人情タコ焼き先生」だったことも分かりました。



これはあくまでもドラマで、現在の学校教育の場とはあまりにもかけ離れ、行動がすべて適切であったとは言い難い部分があります。しかし、そこには紛れもなく「教師が心から子どもに寄り添い、子どもの背景を理解して、子どものために本気で何とかしたいという姿」が描かれていました。当時の私は、その「熱い思い」に心を打たれたのだと思います。教育に携わる者となって相当な月日が流れましたが、改めて北野先生から「教育の原点」を学んだ気がしました。

保護者の皆様、地域の皆様、今月も本校の教育活動にご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。